

決算特別委員会会議録（第1号）

○会議月日 平成27年9月7日（月曜日）

○会議場所 蓬田村議会議事堂

○出席委員（7名）

委員長	木村	修	君			
副委員長	柿崎	裕二	君			
委員	小鹿	重一	君	久慈	省悟	君
	森	弘美	君	坂本	豊	君
	藤田	修一	君			

○欠席委員（1名）

山舘清剛君

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

村	長	久慈	修一	君				
教	育	長	吉崎	博	君			
会	計	管	理	者	小松	生	佳	君
総	務	課	長	坂本	亮	君		
税	務	課	長	佐井	邦彦	君		
住	民	課	長	柿崎	真人	君		
健	康	福	祉	課	長	川崎	幸治	君
教	育	課	長	越田	茂弘	君		
産	業	振	興	課	長	中川	悟	君
建	設	課	長	大川	誠治	君		
代	表	監	査	委	員	武井	昭夫	君

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	坂本 勝教 君
議会事務局 次長	佐藤 一仁 君

○会議に付した事件

1. 正副委員長の選任
 2. 議案第54号から議案第60号までの説明
-

○議事の経過概要

午前11時30分 開会

● 正副委員長の選任

○坂本事務局長 これより決算特別委員会に入ります。

決算特別委員会設置後初めての委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、議会委員会条例第8条第2項の規定により、年長の委員が委員長の職務を行うことになっております。そこで年長委員の藤田修一委員に委員長互選の職務をお願いいたします。

○藤田臨時委員長 それでは、委員長が互選されるまでの間、委員長の職務を行いますので、よろしくをお願いいたします。

ただいまの出席委員は7名で定足数に達していますので、これより決算特別委員会を開会いたします。

それでは委員長の互選を行います。

お諮りいたします。委員長の互選は指名推選の方法によって行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○藤田臨時委員長 ご異議なしと認めます。

それでは指名推選をお願いいたします。久慈省悟委員。

○久慈委員 委員長には総務文教常任委員長を推選いたします。

○藤田臨時委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○藤田臨時委員長 お諮りいたします。ただいまの推薦にご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○藤田臨時委員長 ご異議なしと認めます。よって、委員長には木村 修委員が当選されました。

委員長に就任の挨拶をお願いいたします。

○木村委員長 ただいま委員長に指名されました木村 修です。ふなれではございますが、一生懸命務めさせていただきます。

言うまでもなく、今回の決算特別委員会は平成26年度の予算が適正に執行されたかなどについて審査する重要な使命を帯びています。適正かつ慎重なる議論をお願いしたいことは当然のことでございますが、限られた日程の中で審査を終了しなければならないという物理的な制約もございますので、定められた一定のルールの中で効率的な運営を行ってまいりたいと思いますので、委員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

○藤田臨時委員長 以上で、年長委員の職務を終わります。

それでは委員長と交代いたします。ご協力ありがとうございました。

○木村委員長 引き続き副委員長の互選を行います。

お諮りいたします。副委員長の互選は指名推選の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○木村委員長 ご異議なしと認めます。副委員長には柿崎裕二委員を指名いたします。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○木村委員長 ご異議なしと認めます。副委員長には柿崎裕二委員が当選されました。

次に、説明員として村長、教育長、代表監査委員、会計管理者、各課長の出席を求めました。

● 議案第54号から議案第60号までの説明

○木村委員長 これより、議事に入ります。

本特別委員会に付託されました議案第54号平成26年度蓬田村一般会計歳入歳出決算認定を求めるの件から議案第60号平成26年度蓬田村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定を求めるの件まで7案を一括上程いたします。

これより、決算7案の主なる内容について説明を求めます。会計管理者。

○小松会計管理者 それでは、平成26年度各会計の決算概要をご説明申し上げます。

最初に、全会計の収支状況を示す1ページ算総覧をごらんいただきます。

全ての会計において歳計剰余金を生じております。一般会計においては、歳出経費の翌年度繰越額が生じております。

なお、決算数値は1,000円単位（一部端数調整）で説明いたします。

それでは、平成26年度一般会計について説明申し上げます。

まずは、一般会計の総括を歳入から申し上げます。決算書の4ページをお開きいただきます。

予算現額28億9,583万1,000円に対し、収入済額は26億3,962万2,000円となりました。地方税法に基づく不納欠損処分額は138万円、収入未済額は2億8,248万2,000円であります。

次に7ページをごらんいただきます。

歳出合計は予算現額28億9,583万1,000円に対し、支出済額25億3,674万3,000円、執行率87.6%を執行いたしました。

この結果については、8ページの実質収支に関する調書をごらんいただきます。歳入歳出差引額は1億287万9,000円、このうち事故繰越繰越額が3,706万6,000円であります。実質収支額は6,581万3,000円となり、基金に5,500万円を積み立てし、財政調整基金に5,000万、それから減債基金に500万円、残額は翌年度の歳入に繰り越しとなります。

それでは、決算書2ページに戻りまして、歳入について説明申し上げます。

第1款村税の収入済額は2億2,987万3,000円で前年度比221万2,000円の減であります。不納欠損額138万円を処分しております。各税の収入未済額は決算書記載のとおりであります。

第2款地方譲与税から第10款交通安全対策特別交付金までの9つについては、それぞれの制度に基づき、国・県から譲与または交付された歳入であります。地方交付税については13億6,475万6,000円が交付され、前年度比4,413万7,000円の減となりました。

第11款分担金及び負担金の収入済額は1,169万1,000円で、主なる歳入は保育所受託者負担金、基盤整備事業に関する受益者負担金です。収入未済額は15万5,000円であります。

第12款使用料及び手数料の収入済額は2,229万3,000円で前年度比313万8,000円の増。主なる歳入は行政財産使用料、住宅使用料や施設使用料、コミュニティバス使用料、各

種手数料となっています。収入未済額は323万9,000円であります。

第13款国庫支出金の収入済額は3億6,437万3,000円で前年度比3,620万5,000円の増。主なる歳入は、社会福祉、児童福祉、環境対策等の各種事業負担金や地域の元気臨時交付金、公営住宅建設事業の社会資本整備総合交付金、情報通信利用環境整備促進事業交付金、蓬田村ホタテガイ養殖残渣堆肥処理施設建設事業に係る産地水産業強化支援事業交付金等であります。

第14款県支出金の収入済額は1億2,598万4,000円で前年度比127万2,000円の減。主なる歳入は、各種事業の負担金、農林水産事業等の各種補助金、統計調査、選挙、徴税、民生事業等に関する委託金であります。

第15款財産収入の収入済額は332万7,000円で前年度比2,226万9,000円の減。主なる歳入は、各種基金利子、分収造林間伐材等売払収入となっています。

第16款寄附金の収入済額は1万円であります。

第17款繰入金の収入済額は1億406万2,000円で前年度比691万円の減。主に宅地造成事業特別会計からの繰入金、公共用施設整備基金の繰入金であります。

第18款繰越金の収入済額は前年度繰越金及び繰越明許費繰越金を合わせ2,997万3,000円となりました。

第19款諸収入の収入済額は5,628万5,000円で前年度比1,013万8,000円の増。主に新市町村振興宝くじ交付金、原子力施設立地振興対策事業助成金、市町村地域振興力向上対策支援事業補助金、町村の魅力発信事業助成金、第三セクター貸付金償還金収入、その他各種諸収入であります。

第20款村債の収入済額は2億5,863万3,000円で、臨時財政対策債、蓬田村中学校海外研修事業債、蓬田小学校校舎外壁塗装整備事業債、情報通信利用環境整備推進事業債及び蓬田村ホタテガイ養殖残渣処理施設建設事業債の収入であります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。決算書5ページをお開きいただきます。

第1款議会費の支出済額は5,436万7,000円、執行率98.1%、前年度比319万7,000円の減、主に議会管理全般に関する経費であります。

第2款総務費の支出済額は6億8,179万1,000円、執行率95.1%、前年度比5,108万3,000円の増。主に総務管理全般に関する経費、情報通信利用環境整備推進事業に関する経費、交通安全対策等に関する経費、第三セクターへの貸付金、財政調整基金及び公

共用施設整備基金の積立金、税の賦課徴収に関する経費、コミュニティバスの運行、選挙費、統計調査費等の執行経費であります。蓬田村総合戦略対策事業費650万、農業ビジネスモデル構築事業費600万円が繰越明許費となっています。

第3款民生費の支出済額は5億3,237万4,000円で、執行率98.7%、前年度比3,388万7,000円の増。主に社会福祉、老人福祉、児童福祉対策に関する経費、国保特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金であります。プレミアム券地域福祉助成事業費230万円、低所得者等灯油購入助成事業費250万円が繰越明許費となっています。

第4款衛生費の支出済額は2億2,355万3,000円、執行率90.7%、前年度比1,342万2,000円の増。主に各種予防接種等に関する経費、ごみ処理等の環境衛生対策費、ホタテガイ養殖残渣処理手数料、成人・母子の健康づくり対策費、よもぎ温泉施設改修工事費、ふれあいセンター指定管理に関する経費、簡易水道事業特別会計への繰出金等であります。

第5款労働費の支出済額はありません。

第6款農林水産業費の支出済額は3億3,393万9,000円、執行率55.8%、前年度比1億3,106万1,000円の増。主な支出は農地台帳システム改修事業に関する経費、農業振興に関する各種補助金、用排水路等の農業生産基盤の整備に関する経費、新規就農総合支援対策事業等に関する経費。林業費では分収林間伐材等交付金、水産業費では海岸漂着物対策推進事業に関する経費、漁業振興に関する各種補助金等に関する経費であります。蓬田村ホタテガイ養殖残渣堆肥化処理施設建設事業費2億6,370万3,000円が事故繰り越しとなっています。

第7款商工費の支出済額は1,525万7,000円、執行率は72.4%、前年度比229万円の増。主な支出は蓬田三山魅力発信事業に関する経費及び商工・観光の振興対策費、消費者行政推進費であります。プレミアム券発行事業費558万4,000円が繰越明許費となっています。

第8款土木費の支出済額は2億2,196万1,000円、執行率99.7%、前年度比1億45万4,000円の減。主な支出は、村道6-2-2号線道路改良工事費、村道の舗装補修や橋りょう補修工事等の道路維持管理、河川維持管理、除排雪費、公営住宅建設工事並びに監理委託等に関する経費であります。

第9款消防費の支出済額は7,239万9,000円、執行率95.8%、前年度比1,233万3,000円

の減。主な支出は、青森地域広域消防事務組合分担金、消防団の装備充実と組織強化に関する経費であります。

第10款教育費の支出済額は1億6,317万4,000円、執行率90.6%、前年度比840万6,000円の増。主な支出は、蓬田小学校校舎外壁全面塗装工事等の施設維持管理費、中学校海外研修事業費、小・中学校の学校管理費、社会教育事業及びスポーツ振興に関する経費、学校給食センター特別会計への繰出金、玉松台スポーツガーデン等の教育環境整備に関する経費であります。義務教育ICTシステム導入事業費970万円、蓬田中学校国際交流推進事業費469万5,000円が繰越明許費となっています。

第11款災害復旧費の支出済額は1,289万5,000円、執行率99.2%、前年度比776万6,000円の減。主な支出は、農業用施設災害復旧工事費、河川災害復旧工事に関する経費であります。

第12款公債費の支出済額は2億2,502万7,000円、執行率99.9%、前年度比2,447万3,000円の減となりました。

第13款予備費残額は154万4,000円であります。

以上で、一般会計の説明を終わります。

続きまして、特別会計について説明いたします。

初めに、学校給食センター特別会計について説明いたします。

決算書106ページ、106ページの歳入合計は給食収入1,067万5,000円、一般会計からの繰入金、前年度繰越金を合わせ2,127万6,000円となり、給食費負担金の収入未済額は14万円であります。

決算書107ページの歳出合計は2,126万3,000円、執行率99.9%、学校給食センターの管理運営費及び給食材料費であります。

決算書108ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は1万3,000円となり、翌年度に繰り越しとなります。

続きまして、国民健康保険特別会計について説明いたします。

決算書112ページから113ページの歳入合計は国民健康保険税収入9,570万7,000円、国・県支出金、前期高齢者交付金、共同事業交付金、一般会計繰入金や基金繰入金等を合わせ4億3,461万4,000円となりました。保険税では222万円を不納欠損処分しております。収入未済額は3,687万9,000円であります。

決算書114ページから115ページの歳出合計は4億3,188万5,000円、執行率99.9%。主

な支出は保険給付費の2億6,637万9,000円、後期高齢者支援金等、介護納付金、共同事業拠出金、特定健康診査事業費等であります。

決算書116ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は272万8,000円となります。このうち170万円を基金に積み立てをし、残額は翌年度の歳入に繰り越しとなります。

続きまして、簡易水道事業特別会計について説明いたします。

決算書134ページの歳入合計は水道料金使用料及び手数料の収入済額5,057万3,000円、一般会計繰入金4,808万5,000円、その他繰越金を合わせ9,889万7,000円となりました。使用料の収入未済額は329万8,000円であります。

決算書135ページの歳出合計は9,822万5,000円、執行率99.9%。主な支出は水道施設の維持管理工事費、自動検針メーター購入費、公債費の償還金及び利子であります。

決算書136ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は67万2,000円となり、翌年度へ繰り越しとなります。

続きまして、介護保険特別会計について説明いたします。

決算書142ページから143ページの歳入合計は介護保険料の7,074万2,000円、国・県支出金や支払基金交付金、一般会計繰入金等を合わせ4億4,925万5,000円となります。保険料では174万7,000円を不納欠損処分しております。収入未済額は81万3,000円あります。

決算書144ページから145ページの歳出合計は4億4,817万円、執行率99.8%。主な支出は介護サービス等の保険給付費、介護予防に関する経費、基金積立金等であります。

決算書146ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は108万5,000円となり、翌年度へ繰り越しとなります。

続きまして、宅地造成事業特別会計について説明いたします。

決算書163ページの歳入合計は宅地造成地売払収入402万2,000円、一般会計からの繰入金等を合わせ402万7,000円となりました。

決算書164ページの歳出合計は402万2,000円となりました。執行率99.9%。主な支出は一般会計への繰出金であります。

決算書165ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は4,000円となり、翌年度へ繰り越しとなります。

最後に、後期高齢者医療特別会計について説明いたします。

決算書168ページの歳入合計は後期高齢者医療保険料1,538万9,000円、一般会計からの繰入金6,739万円、諸収入等を合わせ8,341万9,000円となりました。

決算書169ページの歳出合計は8,276万4,000円、執行率99.6%。主な支出は後期高齢者医療広域連合納付金、その他事務経費であります。

決算書170ページの実質収支に関する調書の歳入歳出差引額は65万5,000円となり、翌年度へ繰り越しとなります。

以上、平成26年度各会計の決算概要を申し上げます。よろしくご審議賜りたく説明を終わらせていただきます。

○木村委員長 ただいま会計管理者より各会計決算7案の説明がありましたが、この審査は8日の委員会において慎重審議することといたします。

本日は、これで散会いたします。

ご苦労さまでした。

午前11時02分 散会

上記会議の経過は、事務局長坂本勝教が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

平成27年 月 日

決算特別委員長